長崎市社協
マスコットキャラクター
ピー助

地域なんでも情報局

第27号
平成29年6月16日発行
長崎市社会福祉協議会
長崎市上町1番33号

災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を実施しました

去る5月23日、琴海大平町の琴海北部運動公園において長崎市総合防災訓練が実施され、長崎市、社協(長崎市・長与町・時津町)、一般社団法人長崎青年会議所及び連合長崎地域協議会の職員が役割分担を行い「**災害ボランティアセンター**」(以下、「災害VC」という。)の設置・運営訓練を行いました。

熊本地震でも全国から多くの災害ボランティアが集まり被災地支援に力を発揮しましたが、ボランティアの力を効果的に被災者支援に役立てるため災害VCの早期設置と効果的な運営も被災者支援の重要な役割を担います。

今回は、社協と「災害時相互協力協定」を結んだ長崎青年会議所が合同で行う初めての訓練です。約40名の市民防災リーダーの皆さんにご協力いただき、ボランティアの受付訓練、ボランティア活動の注意事項を確認するオリエンテーション開催訓練、被災者の要望とボランティア活動を調整するマッチング訓練を行いました。社協では平常時から防災意識を高めるためにも、訓練を続けていきます。

大規模災害発生時における被災者・被災地の復興のために活動するボランティアの方々の力を円滑かつ効果的に被災者支援につなげるための「災害復興支援に特化した臨時のボランティアセンター」です。



大規模災害時に市社協と長崎青年会議所が連携し、災害ボランティアセンターの迅速かつ効果的な運営を行い、被災者の生活安定や被災地の１日も早い復旧・復興に寄与することを目的としています。





あの人！どんな人！こんな人

女の都地区 小田 喬さん



小田さんは退職後、自治会活動に携わる傍ら社会福祉士の資格を取得し「引きこもりの方が気軽に集まれる場所を作りたい！」と、昨年11月に自宅を改装して『引きこもり等「一般就労」困難者支援 地域福祉サービス事業所 楽々(らくらく)工房』を開設されました。女の都３丁目の住宅街の中にある楽々工房では、午前中に一般就労が困難な方々を対象とした就労訓練が行われ、午後からは地域住民に広く施設が開放され、絵画や絵手紙、パソコン、ストレッチ等の各種教室や、川柳、囲碁、名画鑑賞など多種多様な催しが行われています。色々な住民が気軽に集まれる場所が出来たことで人と人との輪が広がり、日々新しい活動が生まれているそうです。また、小田さんは、引きこもりの方々やその家族とも真正面から向き合い、相手に寄り添いながら様々な支援を行っておられるそうで、「対象者の前向きな変化を感じることが一番のやりがい」と嬉しそうに語っておられました。今年74歳になられるという小田さん。年齢を重ねるごとにそのエネルギッシュな姿勢は一際輝きを増しておられます。現在、新たな取組みとして、茂木地区の耕作放棄地を使ったビワの栽培事業の準備を進めているそうで、将来的には障害者や高齢者の雇用にもつなげたいと頑張っておられます。

楽々工房

＊当会ホームページから「地域なんでも情報局」バックナンバーのダウンロードができるようになりました！『**長崎市社協　地域なんでも情報局**』でご検索下さい。

完成☆ やってみゅ～か！わがまちプラン 長崎市社協 香焼支部

社協香焼支部では、福祉のまちづくりの方向性を目に見える形にした「香焼地区やってみゅ～か！わがまちプラン」を平成29年5月に策定しました。

香焼地区では、平成22年に「やってみゅ～で・わがまち座談会」を開催しており、その際に地域の「いいところ・気になるところ」を出し合いましたが、今回はそこからもう一歩進み、これからの香焼のまちづくりの具体的な方向性を考えるために、地区内で活動している団体の代表者が集まり市社協も協力して話し合いを重ねました。

プランの中には、今後取り組んでいく課題として「高齢者の見守り」、「犬・猫のフン害」、「地域の中の団体・世代間交流」が挙げられています。



「手をつなごう　希望あふれる　花のまち　香焼」

香焼地区では、これらの課題に取り組むため、日頃から地区内の団体が顔を合わせ、情報を交換する場を定期開催することとし、その場で解決に向けた協議を継続します。地域の皆さんで決めた「手をつなごう　希望あふれる　花のまち　香焼」に向かって、香焼地区の新たなまちづくりがスタートしました。



平成22年に行われた座談会で考えたまちづくりのためのキャッチフレーズ！



←完成までの話し合いの様子

木場町ホタル祭り

去る5月27日に木場町自治会にて「第25回木場町ホタル祭り」が開催されました。西山ダムの上流に位置する木場町ではこの時期、町を流れる川にホタルが飛び交い、夜には幻想的な光景が見られます。このホタル祭りには毎年大勢の人が訪れ、いろんな出店や、趣向を凝らしたステージショーなどで盛り上がります。

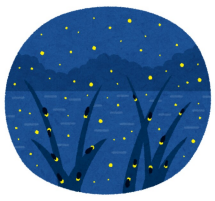
当日は片淵中学校の吹奏楽部と上長崎小学校のブラスバンド部の合同演奏で賑やかに始まったホタル祭りは、出店に集まる子どもたちの笑い声やステージでのダンスショー、和太鼓の演奏で、いつもは静かな木場町がこのときばかりは人の声が飛び交い、楽しい音楽が流れる賑やかな空間になりました。



今年も盛況だったホタル祭りですが、賑やかなお祭りの裏では、木場町自治会の皆さんのお世話やご苦労が地域のお祭りを支えています。自治会長の浦川 勲会長は「25年間も続いているこのホタル祭りは、100世帯もないこの木場町自治会が総参加することで続けることができています。」とおっしゃっていました。木場町の豊かな自然と、地域の絆がある限り、このホタル祭りはいつまでも続いていくことと思います。







職員紹介

4月より長崎市社会福祉協議会に新たな職員が加わりました。異動があった職員とともにご紹介します。

①出身地②長所・短所③趣味④思い出の曲⑤最後に一言



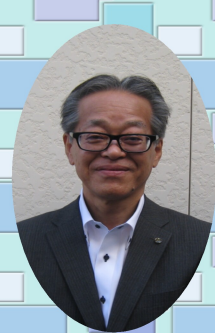
事務局長 納富重信

①諫早市②見た目はA型、実は0型です。基本的には、楽天家でおおらか、短所は気持ちが態度に出やすいところ③スポーツ鑑賞、ドライブ④「遠くで汽笛を聞きながら」初めてのコンサートで聞いた曲⑤微力ですが少しでも福祉が推進するよう頑張ります。皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



香焼支所長 中村徹

①生粋の長崎生まれ、長崎育ちです。学生時代を横浜で過ごした時期もありますが、長崎人です。②熱しやすく、冷めやすい性格です。③気心が知れた友人とお酒を飲みながら会話することです。④50年前に、出会ったビートルズの曲すべてです。⑤未知との遭遇の毎日です。



総務課長 北川久人

①佐賀県神埼市（吉野ケ里公園の近くです。）②おおらかで、のんびりしている所③ジムトレーニングがマイブームです。④AA列車で行こう⑤「元気じゃないと仕事はできない。」をモットーに、日々体力づくりに精を出しています。素朴な疑問（どうして）をいつまでも大切にしていきたいと思います。



琴海支所長 中村耕司

①琴海大平町。生まれてからここから出たことがありません②何でも挑戦したがる。とにかくNOといえない。何でも中途半端で終わる③多趣味です。日曜大工、バイクを頻繁に買い求めています。なぜか中古ばかり4月も福岡まで買いに行きました同時期に6台保有、そのほとんどが動かない代物です。飲み会のときの余興④15の夜、忍冬⑤とにかく琴海支所に来て私とお話しましょう。

高齢者ふれあいサロンサポーター養成講座について



長崎市では、高齢者サロンの担い手養成を目的とし、平成21年度から「高齢者ふれあいサロンサポーター養成講座」（全6回）を年間5地区で開催しています。

この養成講座を修了された多くの皆さんが、高齢者ふれあいサロンでサポーターとして活躍されています